



PROFILE

こすぎ・けんた (30・東町)
市内の理容店「カット&リラク
ゼーション アウラ」で店長を務
める。

理容師界にレジェンド現る

こすぎ けんた
小杉 健太 さん

59年ぶりの快挙を達成

10月20日、全国理容競技大会が山形県で開催され、小杉健太さんが「トレンドカット・オン・メンズヴィータ」部門で優勝、同時に内閣総理大臣賞も受賞し、静岡県勢としては59年ぶりの全国優勝という偉業を成し遂げた。

「これまでは本番になるとプレッシャーに負け、練習通りの技を発揮することができなかった」という小杉さん。昨年の全国大会14位から飛躍的に順位を伸ばしたのは「落ち着いて大会に挑戦できるように、普段から大会の雰囲気や緊張感をイメージして練習を重ねたから」と語る。

修行の日々を乗り越え

幼い頃から床屋さんになるのが夢だった小杉さん。専門学校を卒業して国家資格を取得した後、理容師である父の紹介で東京の店で働き始めた。「理容の現場はハイレベルなことばかりで、ついていくのが必死だった。カット一つに関しては何種類ものやり方があり、なかなか覚えられず、大きな壁にぶつかり、苦

しんだ時期もあった」と修行の日々を振り返る。

その後、浜松に拠点を移し、まわりからの勧めを受け理容競技大会へ挑戦。自分のレベルに合わせて練習内容を考え、仕事後に自主練習を重ねた。その結果、県大会や東海北陸大会で好成績を収め、現在に至るまで5年連続で全国大会に出場している。「本気の人間には、まわりの人も本気で教えてくれる。仕事が終わった後に大阪の先生のもとで深夜まで練習し、始発で帰ってきて仕事をすることもよくあった。努力でつかみ取った優勝がとてもうれしい」と笑顔があふれていた。

次に目指すは世界一

「お客さんが喜んでくれることが自信につながる」という小杉さん。2年後、韓国ソウルで開催される世界大会へ出場する予定だ。「今後は講師として後輩の技術向上にも力を注ぎ、4年後に静岡県で開催される全国大会で後輩が上位に入れるよう、共に腕を磨いていきたい」と目標を語る。常に上を目指す小杉さんの今後の活躍に期待したい。